

刀 銘 一雲齋秀春、慶應二寅三月日
長さ：73.2cm、反り：1.6cm
刃文：互の目丁子

刀工一雲齋秀春の 謎を解明する

幕末明治初めに活躍し、抜群の切れ味で今なお人気が高い
琴浦町八橋出身の刀工一雲齋秀春（藤本和一郎）の作品・
人物にスポットをあて、刀工「尚春」との関係など、その生
涯の謎を当時の資料をもとに解明します。

講演会

- とき **2/18** 日 午後2時から午後4時まで
- ところ 琴浦町生涯学習センター「まなびタウンとうはく」
〒689-2303 鳥取県東伯郡琴浦町徳万 266-5
電話：0858-52-1111
- 演題 「郷土の刀工 藤本和一郎秀春の実像について」
- 講師 大田 勝也さん（鳥取民俗懇話会会員）
- 定員 50人
- 参加費 200円（資料実費）
- 申込期限及び方法 2月15日（木）午後5時
申込先に電話で申し込んでください。

刀工を知るワークショップ

- ①一雲齋秀春 「秀春ゆかりの八橋をあるく」
 - とき **3/17** 日 午後1時から午後3時まで
 - 集合 八橋地区公民館
〒689-2301 鳥取県東伯郡琴浦町八橋 239-13
TEL：0858-52-2564
- ②宮本包則 「帝室技芸員のふるさと 三朝」
 - とき **3/24** 日 午前8時30分から正午まで
 - 集合 三朝町役場
〒682-0195 鳥取県東伯郡三朝町大瀬 999-2
TEL：0858-43-1111

ともに定員20人（事前予約必要）参加費／500円
※宮本包則のワークショップは、別に三徳山入山料400円が必要です。
※詳細はお問い合わせください。